

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2009
採択決定

平成21年度のプロジェクトについては、選考の結果、
以下の6件のプロジェクトが採択されました。

<A部門>

	プロジェクト名	概要	代表者
1	YPU TFT PROJECT～ToもにFuれあいTsuながろう～	「TABLE FOR TWO※」という活動を通して、社会貢献するとともに、県立大学の中の“つながり”を深め、その過程を踏まえて県立大学から地域社会へ、そして国際社会へと“つながり”を広げていく。県立大学の規模の小ささや、学部の専門性などの個性を生かし、県立大学にしかできない形の活動を確立させる。 ※TABLE FOR TWO…私たちが食事をする際、いくらか上乗せした代金を支払うことによって、貧困に苦しむ発展途上国の子供たちにも、一食分の食事を届けることができるシステム。	国際文化学科 2年 玉川佑香
2	ぶちええじゃんブログ型山口マップ 韓国語版	山口県の魅力を紹介する「ぶちええじゃんブログ型山口マップ 韓国語版」を作成することによって、山口への韓国人観光客を増やすことをねらいとする。 今回は韓国語に限るが、他の言語でも作成できるということのさきがけになると考えている。	国際文化学科 3年 佐志原彩華
3	La ferme de cerises～県大ばたけ～	現在使用していない県立大学の敷地にさつまいもの苗などを植えて、大学の資源の有効活用し、大学の活性化を図る。また、イベントの際などにそこで収穫したものを提供する等して、食物の大切さや食のありがたみを学生たちに感じてもらうことを目的としている。	栄養学科 2年 斉藤有香
4	ピアサポーターによる『県大ライフサポートマップ』制作	ピアサポート活動は、県立大学に“支えあいの風土”を根付かせることを最終目標としている。 このプロジェクトでは、「県大ライフサポートマップ」を作成することで、1年生に大学生活に必要な情報を提供し、大学生活に適應できるようサポートする。「県大ライフサポートマップ」は県立大学近隣の地図を中心とした内容で作成し、県立大学ライフの魅力を掲載するとともに、相談機関やピアサポート活動の紹介も併記する。	社会福祉学科 4年 石倉千恵
5	“すきっちゃユズキチ”プロジェクト	長門ユズキチは山口県の特産カンキツで、県内各地に出荷、販売されているが、知名度が低く、一般には普及していない。そこで、一般の人々に受け入れられるような長門ユズキチの包装・販売方法を検討するだけでなく、長門ユズキチを利用した料理やお菓子等を考案し、長門ユズキチの知名度アップを図る。購買意欲をかきたてるパッケージ等の市場調査やレシピを考案・配布するなどして得られた成果を、商工会議所やJAなど関係機関に提言する。 また、市内の菓子店等で考案したお菓子を試験製作してもらい、大学祭で販売する。	栄養学科 4年 祁答院知佳

<B部門>

	プロジェクト名	概要	代表者
1	県大生クリエイターの実績づくりをしよう！	大学内や県内で精力的に自分の作品を発表している県大生もいるが、大部分の学生が資金面や人数不足が原因で、発表する段階にまで達していないのが現状である。 そこで、より多くの人に作品を知ってもらいたいと考えている県立大学の学生を集め、山口の学生の作品として国内外に向けてアピールする。また、数多くのメディアに注目されているイベントに参加することで、他のクリエイターの方や企業の方と知り合うチャンスをつくることにより、今後の就職活動につながると期待できる。	国際文化学科 3年 今田萌美